



受付日：平成26年7月25日
受付番号：HP14-KT116

接合部性能試験成績証

試験結果は以下のとおりであることを証明する。
平成26年8月25日

東京都港区芝5-33-7
徳栄ビル本館4階
ハウスプラス確認検査株式会社
代表取締役社長 川股孝志

1. 接合金物名称	「スチール束 ジャッキー 950用」
2. 試験依頼者	株式会社 タナカ 〒300-4111 茨城県土浦市大畑702-1
3. 目的	木造建築物にて使用する束金物の長期許容圧縮耐力を評価する。
4. 試験内容	床組み等に使用する(鋼製)束の圧縮試験 なお、準拠する試験方法・評価方法は、ハウスプラス確認検査株式会社制定「木造建築構造試験事業における接合部性能試験業務方法書(平成21年4月1日制定)」による。
5. 試験体仕様	接合金物 「スチール束 ジャッキー 950用」 <u>大引受け材</u> 質：板部 以下の化学成分を満たす炭素鋼 C;0.15%以下 Mn;0.60%以下 S;0.05%以下 P;0.05%以下 ボルト(右ネジボルトW1/2)部 以下の化学成分を満たす炭素鋼 C;0.32~0.38% Mn;0.60~0.90% S;0.05%以下 P;0.03%以下 寸法：板部 88mm×88mm×t2mm 4-φ6mm孔 ボルト(右ネジボルトW1/2)部 φ12.7mm L168mm ※板部中心とボルト端部の接合は全周隅肉溶接 表面処理：HDZ35(JIS H 8641) <u>ベース材</u> 質：板部 以下の化学成分を満たす炭素鋼 C;0.15%以下 Mn;0.60%以下 S;0.05%以下 P;0.05%以下 ボルト(左ネジボルトW1/2)部 以下の化学成分を満たす炭素鋼 C;0.32~0.38% Mn;0.60~0.90% S;0.05%以下 P;0.03%以下 寸法：板部 φ80mm×t2mm 8-φ8mm孔 4-φ5mm孔 ボルト(左ネジボルトW1/2)部 φ12.7mm L168mm ※板部中心とボルト端部の接合は全周隅肉溶接 表面処理：HDZ35(JIS H 8641) <u>ターンバックル材</u> 質：以下の化学成分を満たす炭素鋼 C;0.15%以下 Mn;0.60%以下 S;0.05%以下 P;0.05%以下 寸法：(外形)φ21.7mm L750mm 表面処理：HDZ35(JIS H 8641) <u>六角ナット W1/2右ネジ</u> 質：以下の化学成分を満たす炭素鋼 C;0.15%以下 Mn;0.60%以下 S;0.05%以下 P;0.05%以下 寸法：六角形状 厚さ10mm 表面処理：HDZ35(JIS H 8641) <u>六角ナット W1/2左ネジ</u> 質：以下の化学成分を満たす炭素鋼 C;0.15%以下 Mn;0.60%以下 S;0.05%以下 P;0.05%以下 寸法：六角形状 厚さ10mm 表面処理：HDZ35(JIS H 8641) <u>スプリングワッシャー W1/2 右ネジ用</u> 質：以下の化学成分を満たす炭素鋼 C;0.54~0.76% Mn;0.30~1.20% S;0.03%以下 P;0.03%以下 寸法：外径φ22.5mm 内径φ13mm t2.5mm 表面処理：HDZ35(JIS H 8641) <u>スプリングワッシャー W1/2 左ネジ用</u> 質：以下の化学成分を満たす炭素鋼 C;0.54~0.76% Mn;0.30~1.20% S;0.03%以下 P;0.03%以下 寸法：外径φ22.5mm 内径φ13mm t2.5mm 表面処理：HDZ35(JIS H 8641)
6. 試験条件等	当該束金物は、長さ調整機能を有する束のため最大使用長さ(1050mm)に調整の後、試験した。 圧縮載荷速度は、1.2mm/minとし、単調増加加力とした。
7. 試験結果	長期許容圧縮耐力 5.1 kN (詳細については接合部性能試験報告書に示す)
8. 試験場所	ハウスプラス確認検査株式会社 横浜試験研究センター：神奈川県横浜市鶴見区元宮1-12-24
9. 試験実施日	平成26年7月28日
10. 試験実施担当者	ハウスプラス確認検査株式会社 評定部 家納 吾郎 道場 信義 千葉 博 加川 啓介 土屋 江利佳

この接合部性能試験成績証を転載するときは、必ず全文を記載してください。